

**第三十三回足柄上医師会
わかりやすい医学講話
「不眠症に関する公開講座」**
内門 大丈先生
平成二十八年三月五日
南足柄市文化会館

足柄上医師会は、一般市民、町民の皆様には正しい医学知識を持っていただくため、毎年講師をお願いして一般市民の方々にわかりやすくお話をさせていただいております。テレビなどで、いろいろな医療情報が飛び交うこの頃ですが、医師会が考える正しい医学知識を知っていただく事をめざしております。大勢の皆様にご参加いただけますよう、お願い致します。



**この地区の
インフルエンザ発生情報**

昨年の暮れと新年三日間の休日診療所で診療したのは、十人位の患者さんだったそうです。この地区でのインフルエンザ

は、大人にポツポツ出ているだけで、まだ子供にはあまり出ていないようです。そういうことでまだ、流行らしいことは、起きていないようです。

インフルエンザの治療



はじまったとしても、これまで通りの治療法で良さそうなので、流行ったとしても特に問題ないと考えています。

当院の胃内視鏡検査状況

当院胃内視鏡検査件数			
	全件数	口から	鼻から
平成 25 年	130	117	13
平成 26 年	101	90	11
平成 27 年	79	70	9

胃の内視鏡検査が減少傾向になってしまっています。国の方針も胃の検診は、胃バリウム検査より、胃内視鏡検査に重点を置いていくようなので、当院としても内視鏡検査を充実させてゆこうと考えております。ご協力下さい。

**予防接種を嫌がる
子どもの対応**



子どもにちゃんと話してから受診しましょう

子どもに予防接種へ行くことを告げないで医療機関に行くと、子どもは騙されたことに怒り、興奮して大暴れし、深く傷つくことがあります。

その結果、次の予防接種がもっと難しくなります。「怖い病気がいっぱいあるけど、病気になるらないように守ってくれる注射があるんだよ」「病気が怖いから、注射しに行こうね。ちよつと痛いけど〇〇ちゃんなら頑張れると思うよ」などと話してから医療機関を受診しましょう。

子どもをしっかりと支えましょう
子どもの体をしっかりと固定しないと、子どもが腕を動かして力が入り注射による痛みが増してしまいます。

子どもを医師に向って前向きに抱っこします。右腕に注射する場合、足を保護者の両足で挟み右腕で体をしっかりと押さえ、注射する右腕のひじの部分で保護者の左手でしっかりと固定しましょう。

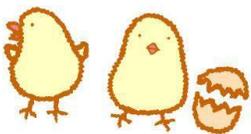
子どもを誉めてあげましょう

医師は子どもが痛がらないよう、細い注射針で、痛みが少ない部位に素早く接種します。注射針を抜くと同時に声掛けもしましょう。

医師も「痛かったね」「頑張ったね」「強かったね」など話しかけます。保護者の方も「泣かないで頑張ったね」「泣いちゃったけど偉かったね」「お姉ちゃんになったね」「お兄ちゃんになったね」など声掛けして、嫌な記憶をリセットできるように、しっかりと誉めてあげましょう。

予防接種は子どもを守る有効な手段です。できるだけ子どもにも負担をかけないように、医師と保護者で協力しあって予防接種を安全に実施しましょう。

日医ニュースより

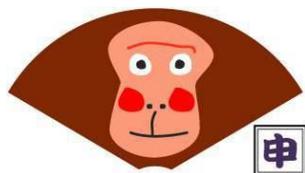


1月・2月の休診日

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜



E・メールを送って下さい。
norikazu@okutu.jp



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。
☆受付けからのお願い
月初めには必ず保険証を受付にお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。
☆編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。